

社会的責任と貢献活動

■ 社会的責任に対する当会の考え方

当会は、府内JAの信用事業の連合会として、協同組合活動を通じ、農業振興・地域経済の発展に貢献し、自然環境の保全と農業との関わり等を一般のみなさまにも広く理解していただくよう努めています。

■ 地域貢献活動

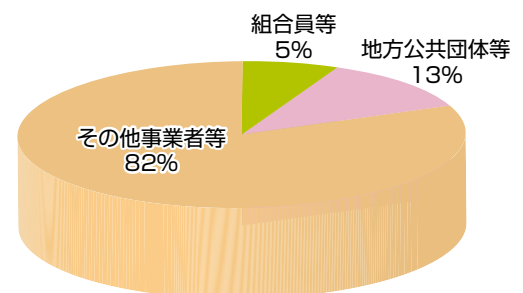
■ 地域からの資金調達

組合員をはじめ地域のみなさまのニーズにお応えできるよう、貯金商品の充実に取り組んでいます。安心してお預けいただける定期貯金・定期積金を中心に各種特典付きのキャンペーンを府内JAと一体となって実施しているほか、団塊世代の方々向けの商品として「プレミアム定期貯金・定期積金」を取り扱っています。各種商品のご提供を通じて、地域に根ざした金融機関となることを目指しています。

■ 地域への資金供給

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいております。また、府内JAの幅広いネットワークを活用することにより、農業の担い手育成を金融面から支援するとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

● 貸出先内訳(平成22年3月末)



残高合計 837億円

(単位：百万円)

● 制度融資貸出金残高(平成22年3月末)

(単位：百万円)

農業改良資金	207
就農支援資金	226
住宅建設資金	65
住宅改良資金	11

組合員等	4,349
地方公共団体等	10,590
その他事業者等	68,818
合計	83,759

■ 地域密着型金融への取り組み

1. 農山漁村等地域活性化のための融資をはじめとする支援等
JAと一体となって以下のとおり取り組んでいます。

① 担い手支援

京都府の農業資源を守る農業担い手を支援するため、各JAが担い手金融リーダーを設

置し、担い手に対する金融面からのサポートに取り組んでいます。当会としても各JAの担い手金融リーダーと連携して、日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）を中心に、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

独自資金としては「担い手育成支援資金」を創設し、担い手の事業に必要な、農業生産および農産物の加工・流通・販売等に関する運転資金・設備資金等の事業資金の融資を行っています。

今後も各JAとの連携をさらに強化し、農業制度資金等の積極的活用により担い手支援を進めてまいります。

②その他の支援

新規就農者への就農支援資金による支援や、農業改良資金による新作物・新技術の導入へのチャレンジ支援等、京都府をはじめ関係機関と協調・連携し、活力ある京都府の農業の支援に努めています。

③食農教育事業

府内の主たる担い手で構成する「京都府農協青壮年組織協議会」により、毎年、一般の消費者親子を招いて農業体験教室を開催しています。当会についても、JAグループ京都としての支援を通じて、生産者と消費者をつなげる場を提供しています。



2. JAバンクアグリサポート事業

JAバンクとして日本の農業・農村に対してこれまで以上の支援を行うため、19年度より農林中金が主体となって「JAバンクアグリ・エコサポート基金」を設立し、全国で事業を展開しています。内容としては「利子助成事業」、「食と地域の文化発信事業」、「JAバンク食農教育応援事業」、「投資事業」の4つの事業があり、JAバンクが一体となって以下の活動を行っています。

①利子助成事業

JAが行う、担い手向けなどの農業融資に対して、利子の助成が基金から行われました。京都府内において対象となった融資は246件、利子助成額は4百万円です。

②京都府内の小学5年生を対象に食農教育の教材本を贈呈

「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材を制作し、京都府内のすべての公立小学校（5年生を対象）に教材本を贈呈し、食農教育の理解促進に努めています。

③「JAキッズワクワクタウン」を開催

JAバンク京都の取組みとして、職業体験イベント「JAキッズワクワクタウン」を京都府内2会場で開催しました。将来を担う子供達に仕事の模擬体験を通じて、「食」「農業」「お金」について学んでもらい、食農教育活動による地域密着、地域貢献に努めています。



3. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会では、京都府や地元金融機関、JA京都中央会とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密着な連携による新たな京都ブランドの創造や農業経営の改善・向上を図る取組みに対して支援を行っています。

■文化的・社会的貢献について

1. グラウンドゴルフ大会の実施

府内JAにおいて組織された年金友の会の会員を対象としたグラウンドゴルフ大会を企画・運営しています。

グラウンドゴルフ大会

対象者：年金受給者（友の会会員）
目的：JA年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、京都府JA年金友の会グラウンドゴルフ大会を実施。
京都府大会開催日：平成21年10月22日
参加選手：約100人（各JAの選抜チーム）



2. 「元阪神タイガース片岡篤史氏から学ぶ少年野球教室」を開催

JAバンク京都では、「元阪神タイガース片岡篤史氏から学ぶ少年野球教室」を京都府内5会場で開催しました。

野球教室を通じて、地域に根ざした金融機関として利用者基盤の拡充に努めています。



3. Jリーグチーム「京都サンガF. C」への協賛

平成18年度よりプロサッカーチーム「京都サンガF. C」のオフィシャルスポンサーとなっています。平成21年度も京都サンガF. C主催のホームゲーム会場において、入場者を対象としたJAバンク京都のPR活動を実施し、地域密着に努めています。

4. 団塊世代向け広報誌「いきいき倶楽部“輝”」を発刊

団塊世代の方々を対象としたJAバンク京都のオリジナル情報誌を発刊しています。同世代の関心度が高い編集内容とし、退職後の人生をいきいきと暮らしていただけるよう情報提供に努めています。



5. 広報活動

JAグループ京都が、企画・提供するテレビ番組「あぐり京都」やラジオ番組への協賛、インフォメーション（広報誌）での広報活動を通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

6. 年金相談会の支援等

専門家による年金相談会を、府内JAの各店舗で開催しています。年金受取口座をJAに振込指定いただいた方に、各JAにおいて旅行・観劇等、各種サービスを実施しています。